

Aさんから見ている経緯と気持ち

【Aさんから見た経緯】

- ・地域包括支援センターから「熱中症予防の声かけ」ということで、職員が訪問した。訪問時は娘が対応した。やり取りがされているのは知っているが、何を話していたのかは知らない。その後、娘に聞いたが「地域をまわっているらしい」とだけ聞いている。

【本人Aさんの気持ち】

- ・夫が生きていたころから、仕事、家事、子育てを1人で行ってきた。地域との関わりも積極的に行ってきた。家族の生活を支えてきたという経験、プライドがある。
- ・現状の生活に不自由さは感じておらず、満足している。
- ・今までも家事は全て1人で頑張っていたし、これからも、自分で出来ると思っている。
- ・多少の物忘れはあると思うが、歳だから仕方ないし、それで問題があるわけではないと思っている。
- ・どこかで今までできていたことがスムーズに出来なかったり、何事にも億劫になってきて、掃除や洗濯、買い物等、頻度が減っていることは自覚しているが、頑張ればまだ自分でできると思っている。
- ・病院へは1人で通っている。薬もしっかり服用出来ていると思っている。
- ・他人に迷惑をかけずに娘と2人で工夫して何とか生活していきたいと思っているので、他者からの支援や介護サービスは必要ないと思っている。
- ・仕事から帰ってくる娘の夕飯を作ることが自分の役割と思っている。
- ・昔から、入浴はあまり好きではなく、入浴頻度は少ない。
- ・近隣との関わりは、夫がいたからしてただけで、もともとは人と関わるのは好きではないと思っている。